ボーイスカウト都道府県連盟
県連盟コミッショナー各位

# 県連盟・地区における全団調査2020の活用方法

日本連盟コミッショナー　福　嶋　正　己

昨年、全団調査2019と並行して実施した「団審査調査」では、全国の3分の1の地区で団審査を実施していないことが分かりました。地域によっても実施率に偏りがあります。そこで、今年度のコミッショナー活動方針に「全国での団審査の実施」を示し、さらに、全団調査をそのツールとして活用しようということにしました。

また、全団調査には本来、日本連盟・県連盟が、事業方針を策定するための基礎情報を得るものとして、全国すべての団を調査する「悉皆調査」としての意義もあります。ところが昨年度は74.8%の回答率にとどまりました。回答しない理由には、「団に拒まれている」「団審査の意義を見いだせない」「県内で同じような調査があり煩わしい」という話を聞きました。登録審査は団が日本連盟に登録するための規程に則った「手続き」であり、団の「健康診断」である団審査とはその性質を異にするものです。今回の全団調査は、団の定期健診として団審査に活用していただくこととしました。

以上のことを踏まえ、全団調査2020の活用方法を以下に示します。

## 1. 全団調査の入力期間

県連盟で決定してください。

団審査用資料として活用するために、1月から2月の加盟登録審査の機会に間に合うように取り組んでください。一方、事業方針策定に活用するためには、早めに入力をスタートして、集計結果を活用することを勧めます。

## 2. 調査対象期間

調査対象期間は、2020年4月1日から現在までの「2020年度の状況」を入力します。しかし、昨年の「全団調査2019」は2018年度の実態を調査したものであるため、2020年度の調査は１年空白期間ができてしまいます。このことから、調査の連続性を鑑みて2019年度の状況を入力してもらう項目も設けています。

## 3. 調査項目

調査項目は、昨年度に引き続き、コミッショナーハンドブック（地区コミッショナー編）の団審査票から項目を選んでいます。

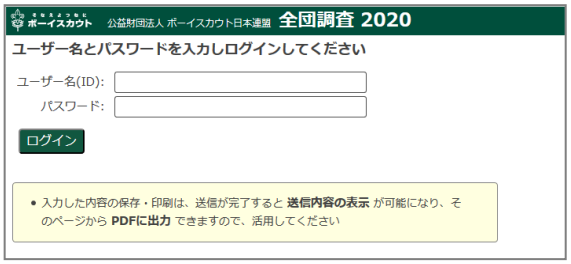
今年度は以下の項目を追加しています。

- **普段の活動で留意していること**
- **プログラムのアイデアの入手方法**
- **ラウンドテーブルに期待すること**
- **コロナ禍での活動状況**

今年度の日本連盟コミッショナー活動方針に「ラウンドテーブルの充実」を挙げましたので、回答内容を今後のラウンドテーブルの企画に活かしてください。

## 4. 入力状況の確認

全団調査のトップページで、地区、県連盟のID・パスワードを入力すると、地区内、県連盟内の各団の取り組み状況がわかります。（ログイン情報は県連盟に送ります）



**５．集計の公開**

昨年と同様、できるだけ早い機会に、入力された情報の集計やグラフなどを、県連盟・地区に公開し、来年度の事業方針策定に役立てるようにする予定です。

**６．「団診断票」の活用**

全団調査2020では、各団が全ページを入力し回答を送信すると「団診断票」(後に例を掲載)が出力できるようになります。この資料は健康診断における検査結果票をイメージしたもので、

- **登録状況**
- **3年間の数値の変化(上昇か下降か)**
- **全国平均あるいは基準より高いか低いか**

などをExcelのファイルとしてダウンロードできるようになっています。この診断は、コミッショナーから各団への指導する際の基礎資料として活用してください。

シートには、各項目についてコミッショナーが「目標・コミッショナーからのアドバイス」を入力する欄を設けましたので、必要に応じてコミッショナーが入力し、団に提示することができます。

団診断票を団審査で活用できるように、以下の手順を想定しています。

(1) 全団調査の項目を団が入力して送信します
送信すると各団では団診断票をダウンロードして、確認できます。
ただし、この状態でコミッショナーのコメントは入力されていません。

(2) 県連盟・地区のコミッショナーは「全団調査2020」に県連盟・地区のアカウント・パスワードでログインし、団審査票を確認・編集します

以下のような画面となり、どの団が送信済みかを確認できます。送信済みの団については、団で見ているのと同じ団診断票をコミッショナーもダウンロードできます。

そこにコミッショナーのコメントを入力してください。

上記ページにはメモ欄があり、利用方法は自由ですが、いつ誰が対応したかなど、県連盟・地区のコミッショナー間での伝言欄として使用してください。

(3) 団診断票を団にメール等で送ります
(4) 団・コミッショナーが団診断票を共有し、団審査に臨みます

団審査に臨むには、内容ができるだけ正確に入力されている必要があります。昨年の全団調査2019では、入力内容をチェックする仕組みがなく、明らかな入力間違いも散見されましたが、今回はコミッショナーがチェックをし、必要があれば訂正を依頼してもらえることを期待しています。

## ７．「持続可能な団支援サイト」の活用

全団調査のトップページ(右の各隊・団運営へのリンクがあるページ)の最下部に、「持続可能な団支援サイト」について紹介しています。

このページは、以下の二つの部分から構成されています。

- **今年度スタート時のスカウト数に対し、これまでの実績としての上進率と入退団数を加味すると5年後にスカウト数がどのようになるかシミュレーションします**
- **団の状況を「全団調査2019」の入力内容を見ながら自己評価できます**

いずれも改善のためのアクションプランを策定し、PDFに出力して団内で共有することで、団が一丸となって問題解決にあたる援けにするものです。

入力内容は保存することができ、いろいろなシミュレーション、アクションプランの策定が可能です。

このサイトの利用は任意ですが、シミュレーションも自己評価も、団にとって大変役に立つと思いますので、県連盟・地区としても活用を進めてください。

**【団宛の連絡内容】（予定）**　　２０２０年１０月１５日現在

各団宛の連絡文書には、以下の内容を掲載する予定です。

記

**■ 方法**

各団から、Webフォームより団審査の状況を「入力」して、「送信」してください。
フォームのURLは、https://survey.scour.or.jp/igs2020/ です。
右のＱＲコードからも入ることができます。

**■ 必要なもの**

パソコン・タブレット・スマートフォンなどインターネットからWebフォームが見られるもの。入力はオンラインで行います。

ブラウザはIE5～IE11，Edge，Chrome，Firefox，Safariでの動作を確認していますが、できるだけ新しいバージョンのブラウザをお使いください。

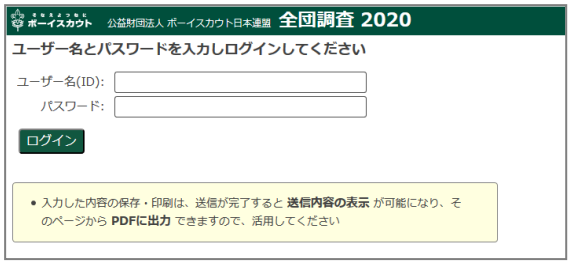
**■ 回答期限**

各県連盟で定めます。

**■ 入力説明**

（１） https://survey.scour.or.jp/igs2020/ にアクセスすると、右のようにユーザー名（ＩＤ）とパスワードを聞いてきますので、県連盟から通知のあった情報に従い、入力してログインしてください。

ＩＤは、加盟登録システムと同じにしていますが、パスワードは本調査専用に設定しています。




（２） ログインすると、右のように各隊と団運営について最大６つのページへのメニューが表示されます（登録していない隊は表示されません）。それぞれのページに入力してください。フォームは、プルダウンから選択する項目、複数選択可能なチェックと数字を入力する項目がほとんどで、特に複雑な入力はありません。

（３） 各ページは同時に入力することができますので、各隊指導者にログイン情報をお知らせして、ご協力をいただくことができます。

（４） 各ページで入力が完了したら**「確定」**してください。基本画面に各ページの作業完了メッセージが出ます。

（５） 全てのページが「確定」したらメニューの上部にある**「送信」**ボタンが押せるようになりますので、委員長が確認の上、「送信」してください。

（６） 「送信」すると**「団診断票」**と入力内容のＰＤＦが出力できます。

「団診断票」はExcelのファイルで、主だった項目について、２年間の変化や全国平均および基準との比較など、自団の状況を評価することができます。さらに、コミッショナーの指導を受けることを想定しており、コミッショナーのアドバイスを入力できる欄を設けています。活用方法は県連盟・地区のコミッショナーから指示を受けてください。ＰＤＦは入力したすべての項目の一覧です。団内で共有するなど活用してください。

**全団調査に基づく団診断票**　**日本** 連盟　**杉並** 地区　**下井草第5団**

**加盟登録数**

| | BVS | CS | BS | VS | RS | 指導者 | 団委員 | 合計 | 目標・コミッショナーからのアドバイス |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2019年3月31日 | 3 | 3 | 0 | 2 | 2 | 3 | 12 | 25 | |
| 2020年3月31日 | 1 | 3 | 3 | 0 | 3 | 4 | 9 | 23 | |
| 増減 | -2 | 0 | 3 | -2 | 1 | 1 | -3 | -2 | |
| 2020年4月1日 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 5 | 9 | 23 | |
| 増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | -1 | 1 | 0 | 0 | |
| 上進率 | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | |

**診断項目**

| | 項目 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | | 全国平均 | 目標・コミッショナーからのアドバイス |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動 | BVS 年間隊集会数 | 15 | 0 | 0 | ▼ | 20.43 | |
| | CS 年間隊集会数 | 18 | 0 | 0 | ▼ | 17.91 | |
| | CS 年間組集会数 | 2 | 0 | 0 | ▼ | 7.90 | |
| | BS 年間隊集会数 | | 0 | 0 | | 15.39 | |
| | BS 年間班集会数 | | 0 | 0 | | 9.17 | |
| | BS 年間班長(GB)訓練数 | | 0 | 0 | | 3.05 | |
| | BS 年間班長(GB)会議数 | | 0 | 0 | | 4.41 | |
| | VS 年間隊集会数 | 5 | | | ▼ | 7.31 | |
| | VS 年間隊会議数 | 3 | | | ▼ | 4.85 | |
| | VS 年間隊運営会議数 | 0 | | | | 1.65 | |
| | VS 年間活動チーム会議数 | 0 | | | | 1.12 | |
| | RS 年間集会数 | 2 | 0 | 0 | ▼ | 2.58 | |
| | CS 年間舎営泊数 | 2 | 0 | 0 | ▼ | 3.22 | |
| | BS 年間野営泊数 | | 0 | 0 | | 8.12 | |
| | BS 最長野営泊数 | | 0 | 0 | | 3.60 | |

## ■ 注意事項

**（１） 必ず送信してください**

「確定」しても「送信」しなければ、提出したことになりません。

**（２） 確定・送信はやりなおし可能です**

「確定」「送信」は何度でもやりなおすことができます。

**（３） 一時保存が可能です**

入力を中断し、後に再開したい場合は、各ページに「保存」のボタンがありますので押してください。入力内容を一時保存することができます。

**（４） 昨年度の入力内容に基づいて予め値が入っている項目があります**

昨年度入力していただいた団・隊のページでは、指導者の継続年数・研修歴、組数・班数、帳簿・記録、団委員会・団会議の開催状況、団運営の項目には、昨年の入力内容に基づいて予め値を入れています(該当項目には**【2019 継承】**と付しています)。継続年数は昨年の入力値に１を加えています。省力化のためにそのようにしましたが、昨年の入力の間違いに気づいたときや、研修歴等が１年の間に変化があった場合は修正することが可能です。**入力済みと思わず、必ず確認するようにしてください。**

（５） ブラウザの 再読込・戻る を押さないでください

ブラウザで「再読込」や「戻る」のボタンを押してページから移動しようとすると、ログアウトしてしまいます。一般的には警告が表示され、ページからの移動をキャンセルすることができますが、そのまま移動してしまうブラウザもあるようですので、前の状態に戻るには、必ず各ページにある**「メインページに戻る」**ボタンを押してください。

（６） 同じページを同時に編集しないでください

６つのページ（ビーバーからローバーまでの各隊と団運営のページ）を分担して同時に入力することができますが、同じ部門のページを同時に編集して「保存」や「確定」した場合は、後から行なったものに上書きされてしまいます。各ページ（各部門）の入力者をひとりに決めるか、入力が同時に行われないように注意してください。

■ 補足

（１）今年度の全団調査は団審査として活用することを前提にしています。そのため調査期間は２０２０年４月１日から入力日までとなりますが、全団調査２０１９からの調査の連続性を考え、項目によっては２０１９年度の値も入力する必要があります。

（２）今年度登録のない隊は入力ページがありません。入力ページがある隊も、２０１９年度登録のなかった隊は２０１９年度の入力項目がありません。入力ページ・項目の有無は、隊の登録状況に応じて変わります。

（３）入力した内容は、コンピューターの機能を活かして、随時集計して分析できるようにし、地区・県連盟・日本連盟で参照できるようにします。

以上